



令和5年7月4日
九州地方整備局
立野ダム工事事務所

立野ダム洪水調節の効果について（速報）

～ 7月2日～7月3日の前線による大雨 ～

○立野ダムでは、7月2日からの梅雨前線による大雨に伴い、

下流河川の水位を低減させるための洪水調節を実施しました。

○基準地点代継橋地点^{よつぎ}（熊本市中央区）にて、ダムの貯留効果により、河川の水位を約 11cm 低下させ、はん濫危険水位（5.00m）超過を回避したと推測されます。

※ダムがなかった場合の河川推定水位やその低減量等、本発表における数値は速報値です。最終的に整理される数値とは異なる場合があります。

問い合わせ先：国土交通省 九州地方整備局 立野ダム工事事務所
〒861-8019 熊本県熊本市東区下南部1丁目4-73
TEL：096-385-0707（代表）
FAX：096-387-2557

技術副所長 都地 浩一（内線204）
工務課長 舘 新吾（内線311）

立野ダム工事事務所HP <https://www.qsr.mlit.go.jp/tateno/>

速報値

令和5年7月4日16:00

立野ダムの洪水貯留による治水効果（白川水系白川）

- 立野ダムは、現在、本格運用前の試験湛水中。
- 梅雨前線に伴う豪雨により、立野ダム上流域において246.5mmの累加雨量を観測。（7月2日19時～3日15時）
- これにより、立野ダムにおいて有効貯水容量の約16%（約1,655千m³）の洪水を一時的に貯留。（7月3日9時20分）
- 基準地点代継橋地点（熊本市中央区）にて、ダムの貯留効果により、河川水位を約11cm低下させ（7月3日11時20分）、はん濫危険水位（5.00m）超過を回避したと推測。

※値はすべて速報値



◆貯留状況写真



【立野ダムにおける水位低減効果】 代継橋地点（7月3日11時20分） （熊本市）



平常時（6月26日）

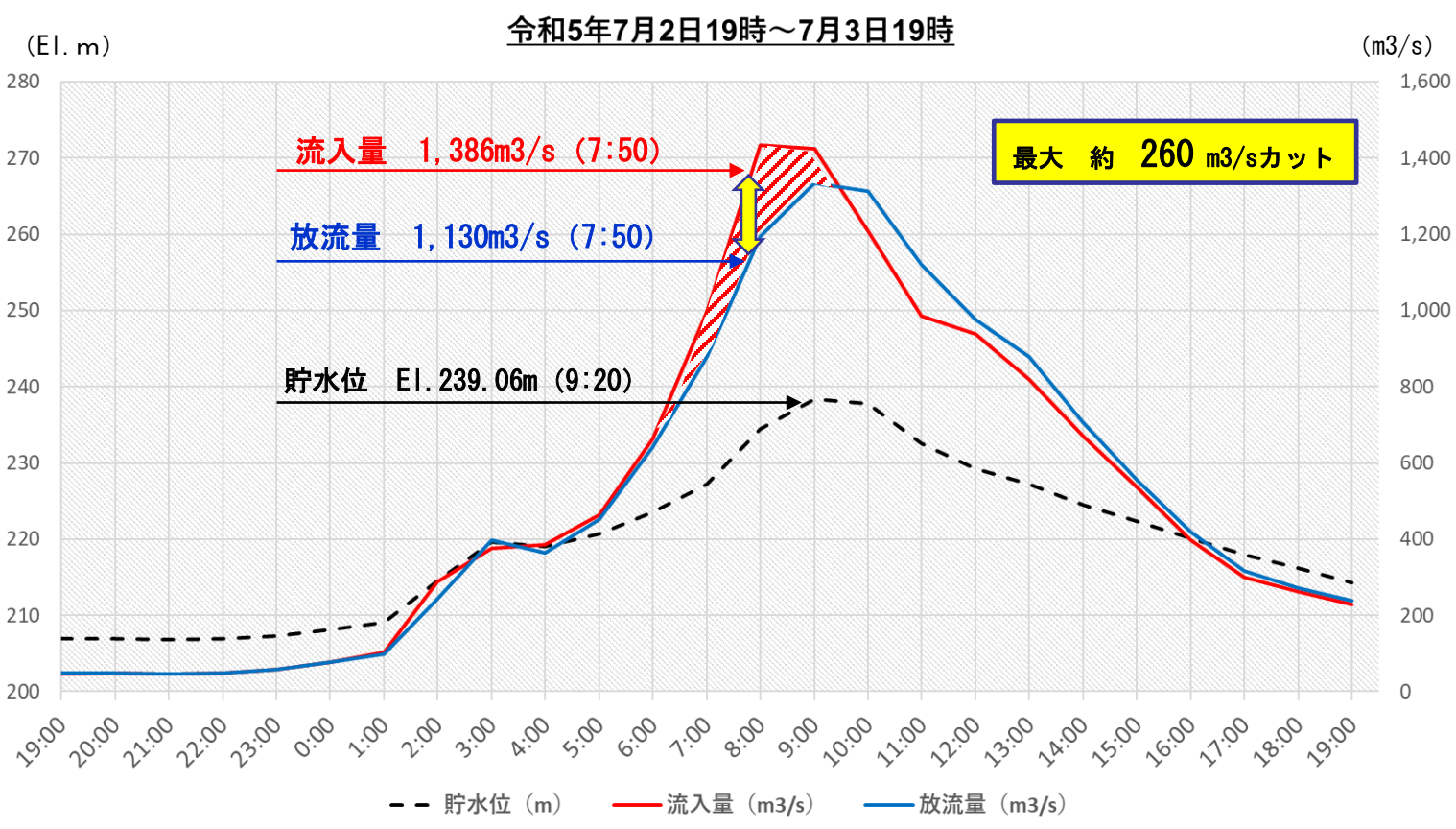
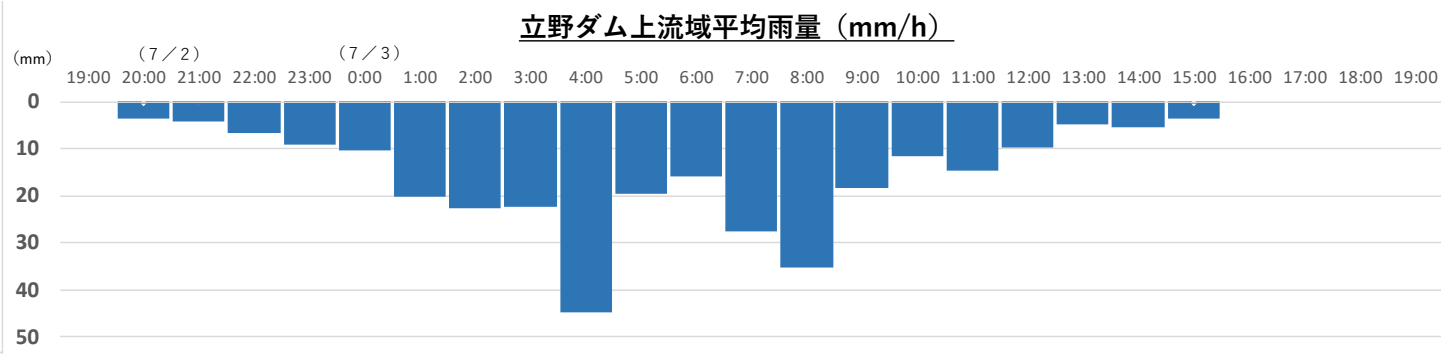


貯留状況（7月3日 9時）

速報値

令和5年7月4日16:00

立野ダムの洪水貯留による治水効果 (白川水系白川) しらかわ しらかわ

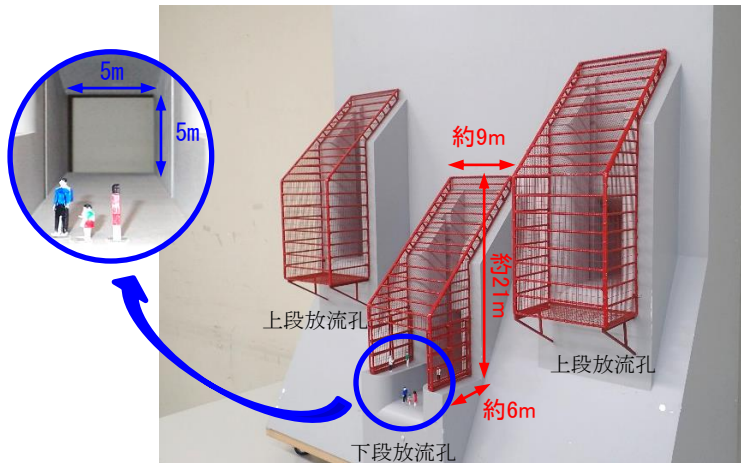


立野ダム放流孔のスクリーン効果

速報値

令和5年7月4日16:00

○6月30日および7月3日の短期間に2度の洪水が発生したが、水理模型実験の結果と同様に、放流孔が閉塞していないことを確認。



スクリーンイメージ